

第49回 日本医学放射線学会秋季臨床大会

第27回 胸部放射線研究会

The 27th Annual Meeting of the Japanese Society of
Thoracic Radiology



2013 · NAGOYA

大会長：石口 恒夫（愛知医科大学医学部 放射線医学講座）

当番世話人：桐生 拓司（朝日大学歯学部附属村上記念病院 放射線科）

日時：平成25年10月12日（土）

会場：名古屋国際会議場

ご 挨拶

第27回 胸部放射線研究会当番世話人
朝日大学歯学部附属村上記念病院 放射線科

桐生 拓司

第27回胸部放射線研究会の当番世話人を務めさせていただきます朝日大学歯学部附属村上記念病院放射線科の桐生から一言ご挨拶申し上げます。はじめに、このような伝統ある研究会のお世話をさせて頂くことを改めて感謝申し上げます。

胸部放射線研究会の歴史をふりかえりますと、昭和62年(1987年)に河野通雄先生のご尽力により発足しました。この年は私が大学を卒業した年にあたります。ご承知の通り、その後のわが国の呼吸器画像診断学の進歩に確実に寄与して参りました。

今年は、要望演題および Quiz 症例に加え、ミニレクチャーを企画しました。

要望演題は、今回は、病理コメンテーターに日本を代表する“肺病理、とくに間質性肺炎”をご専門とする近畿中央胸部疾患センターの北市正則先生と長崎大学病態病理学の福岡順也先生に来て頂けることになりましたので、“非典型的所見のため診断に苦慮した間質性肺炎(特発性、二次性を問わず)”および“特発性間質性肺炎との鑑別に苦慮したびまん性肺疾患”とさせていただきました。また画像コメンテーターに、滋賀医大の村田喜代史先生、高橋雅士先生、臨床コメンテーターに岐阜大学呼吸器内科の大野 康先生に願い致しました。時間は限られていますが、1例1例“熱くていねいに”ご検討いただければと思っています。

今年も、聴衆参加型の Quiz 症例を設けました。演者に診断名をふせて画像を呈示して頂き、会場での討論の後、解説していただくものです。各セッションの最後に予定しています。座長の先生には、会場の先生方に意見をもとめて指名して頂くことにしています。とくに若手の先生方に、“正解”にこだわるのではなく、画像診断のプロセスを学んで頂ければと思います。

ミニレクチャーは、北市正則先生に要望演題をふまえ、お願い致しました。題名は、『特発性間質性肺炎(IIPs)のATS/ERS国際分類：2002年から2013年の変遷と病理診断：病態を考えた使用方法を含めて』ということとても興味をそそる題名です。

一般演題の画像コメンテーターは、関東、中部地区で活躍する経験豊かな“中堅実力派”の先生方をお願い致しました。

皆様のご協力のもと、実りある研究会にできればと祈念しています。微力ながら、全身全霊で臨む所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

ご 案 内

座長・司会者へのご案内

- 1) 参加受付終了後、セッション開始15分前までに、各会場内右前方の「次座長・司会者席」へお着きください。
- 2) セッションの終了時間を厳守してください。
- 3) 本大会では座長・司会者紹介のアナウンスは入りませんのでご了承ください。

口演発表者へのご案内

【利益相反報告について】

- 発表時にはすべての発表者に利益相反の開示が義務づけられます。
- 大会ホームページあるいは日本医学放射線学会ホームページより、発表用のパワーポイントスライドをダウンロードしてそれを用いてください。
- 日本医学放射線学会ホームページに「規定」と「細則」が示されていますので、それを参照してください。

【口演時間について】

口演時間は、一般演題：発表5分、討論3分(計8分)、要望演題：発表5分、討論5分(計10分)、クイズ：発表、解答、解説で計12分です。時間厳守をお願い致します。

【発表データの受付と確認】

- 発表の30分前までに下記のPCデータ受付にて発表データのチェックを行ってください。
名古屋国際会議場 1号館 1階 イベントホール
PCデータ受付時間 10月12日(土) 8:00~18:00
- PC本体お持ち込みの方はデータ確認終了後、セッション開始15分前までに、発表会場のPCオペレーター席(会場ステージ向かって左側)までご自身でお持ちください。
- 会場に設置される機材のスペックは、プロジェクター1画面となり、解像度は1024×768ピクセルです。
- 当日は演者ご自身で演舞台上に設置されてあるキーボード及びマウスにて操作していただきます。
- セッションの始まる15分前には会場でお待ちください。

【ご発表機材について】

〈データをお持ち込みの方〉

- PC(パソコン)での発表のみ可能です。プロジェクターは1台のみの使用となります。
会場ではWindowsのパワーポイントを用意致します。データについてはWindowsのみとし、CD-R、DVD-RまたはUSBフラッシュメモリのメディアにてご持参ください(CD-RW、DVD-RWは不可)。
- CD-R、DVD-Rへの書き込みの際は、ファイナライズ(セッションのクローズ・使用したセッションを閉じる)作業を必ず行ってください。この作業が行われなかった場合は、データを作成した

PC 以外ではデータを開くことができなくなることがあります。予め、CD-R、DVD-R を作成した PC 以外でも開くことができることをご確認ください。

- ご発表用アプリケーションについては以下のバージョンを用意致します。

Windows Power Point : 2000, 2003, 2007, 2010

※ Macintosh で発表データを作成される方は、ご自身の PC をお持ち込みください。

- フォントは OS 標準で装備されているものをご使用下さい。画面レイアウトの崩れを防ぐには、下記フォントのご使用をお勧め致します。

推奨フォント／日本語の場合 MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝

推奨フォント／英語の場合 Century, Century Gothic, Arial, Time New Roman

上記以外のフォントを使用した場合、文字や段落のずれ、文字化け、文字が表示されない等のトラブルが起こる可能性があります。

- 動画をご使用の場合は、PowerPoint とのリンク状態を保つ為、動画ファイルも同じフォルダに保存してください。Windows の場合は、XP (OS) および Windows Media Player9 の初期状態に含まれるコーデックで再生できる動画ファイルをお持ちください。

(推奨：MPEG 形式、WMV 形式)

※ AVI は CODEC によって再生できない場合があります

- 動画ご使用の場合は、ご自身の PC をお持ちいただくことをお勧め致します。

- 音声についてはご使用できません。

- 発表者ツールはご使用できません。

- ファイル名は「演題番号 演者名.ppt (2007/2010 の場合は.pptx)」としてください。

- メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。

- お預かりした発表データは、学会終了後にコンピューターより消去致します。

〈PC 本体を持参される方〉

- PC 持込の場合は、外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。

- また、バッテリー切れを防ぐため電源アダプターをご持参下さい。再起動することがありますのでパスワード入力には不要に設定をお願い致します。出力端子が MiniD-sub15 ピン (通常のモニター端子) でないものは、接続アダプターをご持参下さい。

(例：Mac Air、Mac Book、SONY VAIO など)

- 画面サイズ (解像度) については、XGA (1024 × 768) となります。

- この環境で画面の全てが不具合無く表示される事を、予めご確認ください。

- 音声についてはご使用できません。

- 発表者ツールはご使用できません。

- スクリーンセーバー、省電力設定については、あらかじめ解除をお願いします。

- パソコンにトラブルがあった場合に備えて、バックアップとして各種メディア (CD-R、DVD-R、USB フラッシュメモリ) をご用意ください。

第27回 胸部放射線研究会プログラム

開会の挨拶 (8:35~8:40)

当番世話人 桐生 拓司(朝日大学歯学部附属村上記念病院 放射線科)

セッション1: 縦隔・心臓／血管病変 (8:40~9:40)

座長: 岩野 信吾(名古屋大学放射線科 准教授)

- 01 急速な増大傾向を呈する前縦隔腫瘍とDICを伴った1例
愛媛大学医学部 放射線医学 井手 香奈
- 02 巨大血腫と血胸を来した胸腺腫の1例
神戸大学大学院医学研究科 内科系講座放射線医学分野 関 紳一郎
- 03 胸腺原発 MALT リンパ腫の1例
弘前大学医学部附属病院 放射線科学講座 藤田 大真
- 04 cystic tumor of the atrioventricular node の1例
順天堂大学医学部放射線診断学講座 鈴木 一廣
- 05 肺動脈血管内膜肉腫の1例
名古屋市立大学 放射線科 小澤 良之
- 06 生体肺移植後10年目に急性拒絶反応を来した1例
信州大学医学部画像医学講座 藤田 顕
- 07 [クイズ症例1] 多発肺結節と胸水貯留をきたした1例
聖路加国際病院 放射線診断科 谷尾 宜子

セッション2: 気管／気管支病変 (9:40~10:50)

座長: 小澤 良之(名古屋市立大学医学部放射線科 助教)

- 08 健診で発見された intrapulmonary schwannoma の1例
川崎医科大学 放射線科(画像診断1) 谷本 大吾
- 09 検診異常で発見された Bronchial Cavernous Hemangioma の1例
聖マリアンナ医科大学放射線医学講座 松下彰一郎

- 10 気管 Glomus 腫瘍の 1 例
東北大学病院 放射線診断科 木下 知
- 11 小児の気管支に発生した炎症性筋線維芽細胞腫瘍の 1 例
長崎大学病院 放射線科 石丸 豊
- 12 気管に発生した pyogenic granuloma の 1 例
九州大学大学院 医学研究院 臨床放射線科 山崎 誘三
- 13 血痰を契機に発見された気管支原発と考えられる悪性黒色腫の 1 例
聖路加国際病院 放射線科 佐藤 嘉尚
- 14 CT にて肺病変を経過観察し得た黄色爪症候群の 1 例
東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科 米山 寛子
- 15 [クイズ症例 2] 生体腎移植後に発症した中枢気道病変の 1 例
医療法人立川メディカルセンター 立川総合病院 氏田万寿夫

休憩 (10:50~11:00)

セッション 3: 悪性腫瘍・その他 (11:00~12:10)

座長: 遠藤 正浩 (静岡県立がんセンター画像診断科 科長)

- 16 自然縮小した後に再増大をきたした肺小細胞癌の 1 例
聖路加国際病院 放射線科 森田 有香
- 17 ブラ内充填発育と考えられた肺尖部 carcinosarcoma の 1 例
東京慈恵会医科大学 放射線医学講座 五味 拓
- 18 片側血胸を契機として診断された妊娠性絨毛癌の 1 例
茨城県立中央病院 放射線科 放射線診断 織田 潮人
- 19 MALT type lymphoma の 1 例
大分県立病院 放射線科 小野 麻美
- 20 右上葉切除後の中葉捻転の 1 例
昭和大学横浜市北部病院 放射線科 大場啓一郎
- 21 出生前から経過を追えた neonatal lobar hyperinflation (NLH) の 1 例
東京女子医科大学病院 画像診断・核医学科 太田 貴美

22 多発結節から瀰漫性浸潤影へ変化する経過を追えた粘液産生性細気管支肺胞上皮癌
(杯細胞型高分化腺癌)の1例

名古屋市立大学病院 放射線科

何澤 信礼

23 [クイズ症例3] 肺、肝に多発結節影を呈した1例

呉共済病院 放射線科

牧 大介

世話人会 (12:20~13:20)

村田喜代史先生顕彰式 (13:40~13:45)

特別講演 (13:45~14:15)

座長：上甲 剛(近畿中央病院 放射線診断科部長)

特発性間質性肺炎(IIPs)のATS/ERS国際分類：
2002年から2013年の変遷と病理診断：病態を考えた使用方法を含めて

北市 正則 国立病院機構 近畿中央疾患センター臨床検査科 科長

要望演題1：間質性肺炎 (14:15~15:05)

臨床コメンテーター：大野 康(岐阜大学呼吸器内科 臨床準教授)

画像コメンテーター：高橋 雅士(滋賀医科大学放射線科 病院教授)

病理コメンテーター：北市 正則(国立病院機構 近畿中央疾患センター臨床検査科)

24 VATS 下肺生検にて一部 UIP 様の所見を呈した抗ARS抗体症候群に伴う
間質性肺炎の1例

天理よろづ相談所病院 放射線科

横田 悠介

25 診断に苦慮した間質性肺炎の1例

松下記念病院

田中 匡

26 CTで微細粒状影と線維化を呈し、組織学的に慢性過敏性肺炎が疑われた1例

京都大学大学院 医学研究科 画像診断・核医学講座

坂本 亮

27 間質性肺炎のステロイド治療後に肺癌が発症し術後間質性肺炎急性増悪で
予後不良の転帰をたどった1例

久留米大学 放射線科

江畑 智広

28 若年で肺癌を併発した家族性間質性肺炎の2例

国立病院機構 姫路医療センター 放射線科

寺田 聡子

要望演題2: 間質性肺炎 (15:05~15:45)

臨床コメンテーター: 大野 康 (岐阜大学呼吸器内科 臨床準教授)

画像コメンテーター: 村田喜代史 (滋賀医科大学放射線科 教授)

病理コメンテーター: 福岡 順也 (長崎大学病態病理学 教授)

29 CT上COPが疑われ、生検にてlymphoid hyperplasiaと診断された1例

山口大学 放射線科

田中 伸幸

30 気管支血管束の著明な肥厚を伴い、リンパ増殖性疾患との鑑別が問題となった特発性慢性間質性肺炎の1例

京都大学大学院 医学研究科 画像診断・核医学講座

坂本 亮

31 多発嚢胞性陰影を伴うLIP様の画像所見を呈した肺MALT lymphomaの1例

富山県立中央病院 放射線診断科

阿保 斉

32 肺移植が施行されたPleuroparenchymal fibroelastosisの1例

東北大学病院 放射線診断科

富永 循哉

休憩 (15:45~15:55)

セッション4: 良性肺腫瘍/腫瘍・感染症 (15:55~16:55)

座長: 藤澤 英文 (昭和大学横浜市北部病院放射線科 講師)

33 扁平上皮腺上皮性混合型乳頭腫の1例

兵庫県立がんセンター 放射線診断科

山崎 晴菜

34 肺末梢に発生した孤立性乳頭腫の2例

NTT 東日本関東病院 放射線部

日下部将史

35 腫瘍形成型ランゲルハンス細胞組織球症の1例

岡山大学病院 放射線科

楨本 怜子

36 肺門部腫瘍の像を呈したIgG4関連肺疾患の1例

滋賀医科大学 放射線科

井上 明星

- 37 高齢で発見された Carney Complex の1例
大阪大学 放射線統合医学講座 放射線医学教室 金澤 達
- 38 頸部病変及び多発肺陰影の1例
香川大学医学部 放射線医学講座 則兼 敬志
- 39 [クイズ症例4] Reversed halo sign を呈した1例
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 放射線科 丸山 泰貴

セッション5: 胸膜胸壁病変・感染症 (16:55~17:55)

座長: 村嶋 秀市(三重大学医学部放射線科 講師)

- 40 術前診断が困難であった胸壁脂肪腫の1例
熊本大学医学部附属病院 画像診断・治療科 東 美菜子
- 41 胸膜 calcifying fibrous tumor の1例
滋賀医科大学医学部 放射線科 永谷 幸裕
- 42 術後17年の経過で肺静脈周囲間質に沿って進展する胸膜肺転移をきたした骨肉腫の1例
国立がん研究センター中央病院 放射線診断科 小田 麻生
- 43 高病原性クリプトコッカス症 (Cryptococcus gatti) の1例
静岡県立静岡がんセンター 画像診断科 遠藤 正浩
- 44 肺腺癌に対する化学放射線療法後に拡大した活動性結核の1例
聖路加国際病院 放射線科 堀内 沙矢
- 45 胸膜に発生した石灰化線維性腫瘍の1例
産業医科大学 放射線科学教室 山口 晋平
- 46 [クイズ症例5] 急速増大を来した胸腔内病変の1例
琉球大学 放射線科 土屋奈々絵

閉会の挨拶 (17:55~18:00)

代表幹事 酒井 文和(埼玉医科大学国際医療センター画像診断科)

抄 録

特発性間質性肺炎 (IIPs) の ATS/ERS 国際分類： 2002年から2013年の変遷と病理診断： 病態を考えた使用方法を含めて

北市 正則

国立病院機構 近畿中央疾患センター臨床検査科 科長

IIP classification update では主要な特発性間質性肺炎 (IIPs) として特発性肺線維症、特発性非特異性間質性肺炎、呼吸細気管支炎を伴う間質性肺疾患、剥離性間質性肺炎、特発性器質化肺炎、急性間質性肺炎の6疾患が列挙される予定である。稀な IIPs としてリンパ球性間質性肺炎と胸膜肺実質線維弾性症が記載される予定である。IIPs として分類不能の領域 (Unclass IP) が設定される予定である。また、特発性間質性肺炎の臨床状況で Acute fibrinous and organizing pneumonia (AFOP) と Bronchiolocentric patterns of interstitial pneumonia が稀な組織学的パターンとして記載される予定である。個々の症例の診療では病態を意識した応用が望まれる。講演では各パターンの病理組織学的所見を解説し、個々の症例について応用の実際を例示したい。

略 歴

学 歴：1975年3月京都大学医学部卒業

学 位：1985年1月京都大学医学博士

職 歴：

1983年6月 京都大学結核胸部疾患研究所第二内科(助手)

1992年8月 京都大学胸部疾患研究所附属病院検査部長(助教授)

1998年4月 京都大学医学部附属病院病理部副部長(助教授)

2004年4月 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター研究検査科長

2010年4月 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター臨床検査部長現在に至る

外国出張：

1986年4月-8月 米国ユタ州立大学病理学教室

1986年9月-10月 英国ロンドン大学・王立ブロンプトン病院病理学教室

所属学会等：

1996-1999年

Committee member of ATS/ERS/WASOG Statement on Sarcoidosis

1998-2002年

Core Panel Member for the ATS/ERS Multidisciplinary International Consensus Classification of Interstitial Lung Disease

2001年7月-2004年7月

厚生科学研究特定疾患対策事業びまん性肺疾患調査研究班・

日本呼吸器学会びまん性肺疾患診断・治療ガイドライン作成委員

2010年3月-2013年

Committee member of the ATS/ERS International Multidisciplinary Classification of Idiopathic Interstitial Pneumonias

第27回 胸部放射線研究会 プログラム・抄録集

発行：胸部放射線研究会

胸部放射線研究会事務局：

〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1

埼玉医科大学国際医療センター内

TEL：042-984-4520 FAX：042-984-4520

E-mail：kyobuho@saitama-med.ac.jp

出版： 株式会社セカンド
<http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025